

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	スバシム京都就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和 5 年度

(I) 労働時間		80 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上3時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(II) 生産活動		-20 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	○	
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検履歴に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度	○	
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○	
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)		5 点
※ 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		5 点
※ 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計	110 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV、VI)

(I) 労働時間					
前年度 (令和 7 年度)					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	6,205	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,023	人
			利用者の 1 日の平均労働時間数	6	時間
(II) 生産活動					
会計期間 (9 月 ~ 8 月)					
前々々年度 (令和 4 年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	2,839,318	円	利用者に支払った資金総額	11,683,835	円
			収支	▲ 8,844,517	円
前々年度 (令和 5 年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	3,214,197	円	利用者に支払った資金総額	10,121,431	円
			収支	▲ 6,907,234	円
前年度 (令和 6 年度)					
生産活動収入から経費を除いた額	1,308,665	円	利用者に支払った資金総額	7,660,139	円
			収支	▲ 6,351,474	円
(III) 多様な働き方					
前年度 (7 年度) における取組 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載)					
①免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>		◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/>			
(IV) 支援力向上					
前年度 (7 年度) における取組 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載)					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>		◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している <input type="checkbox"/>		◎先進的事業者の視察・実習の実施している	
◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/>		※研修、学会等名		もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/>	
※研修名 実務者研修		実施日 月 日		※先進的事業者名	
受講者 河窪 真由香		※学会誌等名		実施日/参加者数 月 日 人	
受講日 10月19日		掲載日 月 日		※他の事業所名 京都中央看護保健大学校	
		発表テーマ		実施日/参加者数 8/21~8/22 3 人	
				実施日/参加者数 9/18~9/19 2 人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/>		◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/>		◎ピアサポーターを配置している <input checked="" type="checkbox"/>	
※商談会等名 祇園阿部屋とのコラボ商談会		◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/>		◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input checked="" type="checkbox"/>	
主催者名 合同会社シン		人事評価制度の制定日 R3 年 4 月 1 日		※配置期間 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日	
日時 令和 6 年 1 月 23 日		人事評価制度の対象職員数 10 名		就業時間 9:00~18:00	
内容: 祇園阿部屋の京野菜館とのコラボ商品 (京野菜キャラクター入り刺し子ふきん) の企画開発とあべや店頭での販売要領を協議した。		うち昇給・昇格を行った者 昇給 2 名 昇格 0 名		職務内容 職業支援員	
		当該人事評価制度の周知方法			
		職員会議において教養を実施			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>		◎ISO が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(VI) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県 (指定都市・中核市) へ、経営改善計画書へ提出した。 <input checked="" type="checkbox"/>					
※受理日 令和 7 年 11 月 日					



各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	スパシアム京都就労支援センターししん
住所	京都市下京区四条大宮東入立中町502
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間 雅美
対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	地域連携活動の概要
<p><活動内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 活動場所:健康マージャン「サロンひまつぶし」 活動日程:平成29年11月1日～ 活動概要:地域の高齢者を主な対象とした健康マージャン教室を開催、利用者が麻雀指導、施設清掃その他のサポートにあっています。「手を使う、頭を使う、交流がある」をキャッチフレーズに、引きこもりがちな地域の高齢者に居場所を提供するとともに、ゲームを通じて楽しみながら認知機能アップ、健康増進を図っています。 利用者数:A型1人、B型7人、職員1人 <p><目的></p> <ol style="list-style-type: none"> 障害者の活躍の場の創出と自立支援 趣味のマージャンを通して社会貢献できる居場所(職場)を提供することで、障害者の生き甲斐と自立を支援します。 高齢者の居場所づくり 引きこもりがちな高齢者が、気軽に立ち寄りくつろげる居場所づくりを通して、高齢者の心豊かな生活を応援します。 高齢者の認知機能向上と健康長寿 麻雀は指先を使うことで脳の活性化に役立ち認知機能向上に有効です。足腰の弱った方でも同じようにゲームが楽しめます。気の合う仲間ができ、サロンに通うことが楽しみとなれば元気ハツラツ健康長寿にもつながります。 <p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 4年度中利用者 来店延べ人数 3,036人 平均年齢 77.1歳 最高齢者 94歳女性 利用者Yさん Yさんは令和4年10月に通所を開始し、現在3年半になります。脳血管障害による左半身不随と体重100キロ近い体格から歩行が困難ですが、マージャン好きという強い思いを支えとなり、週3回の通所を悪天候時以外は休まず続けています。通所当初は30分かかったバス停から施設までの約200メートルを、今では10～15分で歩けるまでに改善しYさん本人もびっくり。温厚な人柄で高齢のお客様からの信頼も厚く、麻雀指導やサロン運営のサポートにやりがいを感じながら活躍しています。 	<p><活動の様子></p>  <p>写真(上)は、初心者対象のマージャン教室の状況。利用者が講師になり対面指導を行います。初心者教室の卒業者はサロンの定着率が高く売り上げにも大きい</p>  <p>写真(左)は、新春マージャン大会表彰式の様子です。この日、利用者は審判や欠席者の代打要員として活躍しました。 年に4回実施する麻雀大会は普段とは違った雰囲気です。利用者もお客さんも少々緊張気味です。</p>

顧客等の意見または評価


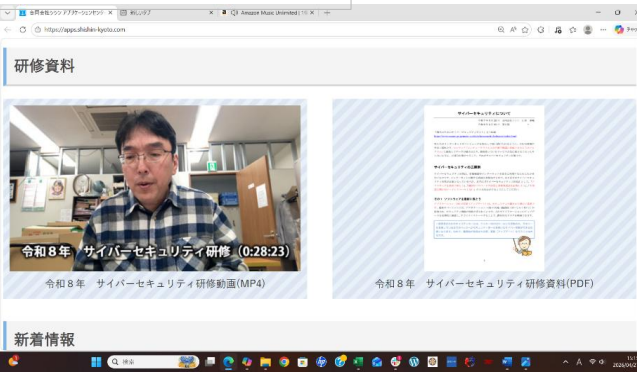
<p>◎ 顧客 (Mさん 91歳) の意見又は評価</p> <p>以下は、当施設の広報誌「ひまつぶしかわら版」にMさんが寄稿して下さった文章です。 【寄稿文 (原文)】</p> <p>今や人生百年時代と言われてます。定年も終え、子育ても終えた今、自分の時間をたっぷり持つことになりました。その暇な時間を過ごすのにマージャンが一番良いのではないのでしょうか。</p> <p>脳の活性化につながり、向上心も生まれ、マージャンは適していると思います。私も皆様方の中に入れて頂き、週1回を楽しんでいます。チー、ポン、ロンと元気な声が聞かれます。同じ趣味同志すぐとけ合い、親しくなる場所です。私も足腰に不具合がありますが、マージャンをしている時間は不思議と痛みが楽になっている気がします。本当に名前通りの「健康マージャンひまつぶし」です。スタッフの方にも、とても親切に対応して下さいます。今後ともよろしくお祈りします。</p> <p>◎ Mさんの紹介</p> <p>Mさんは長年教育の現場で活躍され、現在は「人生100年時代」を前向きに楽しんでおられる91歳の常連利用者です。健康マージャンひまつぶしには週1回参加され、仲間との交流や脳活を楽しみにされています。普段の会話では息子さんのお話がよく登場し、先日は「箱根旅行に連れて行ってもらいました」と嬉しそうに語って下さいました。親孝行な息子さんを誇りに思う、明るく温かいお人柄の方です。</p>			
連携先企業名	健康マージャン「サロンひまつぶし」	担当者名	浦

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	スパシウム京都就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>活動場所:「就労支援センターししん」からオンライン 実施日程:令和8年3月25日 実施概要:オンラインによるパソコン危機管理研修 在宅支援を行っているA型利用者（オンラインそろばん教室講師）に対し、サイバーセキュリティに関する教養を実施した。教養はパソコン事業部の責任者山田主任が担当し、利用者各人はそれぞれの自宅において受講した。 利用者数:A型2人 B型1人 職員3人</p> <p><目的> 受講者はいずれも当事業所が運営するオンラインそろばん教室の講師であり、常に単独でパソコンを扱い担当業務に従事していることから、サイバーセキュリティに関する最新の知識と技能を修得することでサイバー犯罪被害の未然防止に努めるものである。</p> <p><成果> 本研修は例年実施しているが、前年度もサイバー犯罪被害の発生を見ないのはもちろんのこと、これまでは指示待ちであったデータのバックアップ、最新のソフトへのアップデートといった重要な作業を自らの判断で行うようになるなど、明らかに利用者のサイバーセキュリティに対する意識レベルが向上した。</p>	<p>☆オンライン研修の様子☆ 山田主任がデスクからマイクロソフトチームズを使いそろばん講師にオンラインでセキュリティ教養を実施する状況 【写真右】</p> <p>☆教養動画と資料をweb上にアップロード 研修の内容は動画とPDFファイルにしてweb上のアプリケーションセンターにアップロード。研修に参加できなかった利用者や職員もここにアクセスすればいつでも受講ができます。 【写真下】</p>  

連携先の企業や事業所等の意見または評価

企業や組織においては、たった一人の不注意が、ウイルスへの感染や情報漏洩（ろうえい）といった脅威につながる可能性があります。社員・職員の一人ひとりが、情報セキュリティ対策の必要性を理解し、自覚をもって取り組むことが重要です。多くの企業や組織では、情報セキュリティ対策の方針や行動指針を明確にした情報セキュリティポリシーが策定されています。貴社においても策定されていることと思いますので、必ずその内容を確認のうえ患直に従うことが何より重要です。万一の場合の被害の甚大さを考えると情報セキュリティ対策の重要性がご理解いただけることと思います。

連携先企業（担当者）	一般社団法人シシン 山田泰輔
------------	----------------

利用者からの意見・評価

・会社の規模の大小にかかわらず無作為に犯罪者から狙われていることを知り、改めて気を付けようと思いました。アプリケーション・OSのアップデートが重要であるなどということは聞き知っていましたが、これまではどうしたらよいかわからず放置していました。今回、具体的な操作まで指導していただいたのでこれまでのもやもやがすっきりした感じです。S子（39歳）

・これまでサイバー犯罪の被害なんて自分には関係ないことと思ってきましたが、万一にも被害に遭った時の業務上の影響の大きさを考えると、一人一人のサイバーセキュリティに対する取り組みの重要性がわかりました。サイバーセキュリティ3原則を忘れず実践していこうと思います。K助（56歳）